

**平成25年度  
決算の概要について  
(一般会計・特別会計)**



**舞鶴市**

## 目 次

項 目	ページ
◇ 平成25年度決算の概要について(一般会計・特別会計)	
1 平成25年度の財政運営	1
2 一般会計の決算状況	2
① 決算規模	2
(1) 決算収支	2
(2) 歳入の決算状況	3
(3) 歳出(目的別)の決算状況	7
(4) 歳出(性質別)の決算状況	11
② 基金残高の状況	14
③ 市債残高の状況	14
3 特別会計の決算状況	15
① 国民健康保険事業会計	15
② 簡易水道事業会計	15
③ 土地建物造成事業会計	16
④ 貯木事業会計	16
⑤ 下水道事業会計	17
⑥ 駐車場事業会計	17
⑦ 介護保険事業会計(保険事業勘定)	18
" (介護サービス事業勘定)	18
⑧ 後期高齢者医療事業会計	19
4 主要財政指標等の推移(平成21年度～25年度)	20
5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく 健全化判断比率等の状況	21

## 1 平成25年度の財政運営

平成25年度は、「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの『選ばれるまちづくり』」の実現に向け、「安心のまちづくり」、「活力のあるまちづくり」、「市民に役立つ市役所づくり」を重点事項として鋭意取り組むとともに、9月の台風18号災害からの復旧・復興にも全力で取り組んでまいりました。

その結果、一般会計の歳出総額は360億4,870万円(対前年度比0.3%減)となりました。一方、歳入においては、市税や前年度からの繰越金等が減少しましたが、地域経済の活性化等のために新たに交付された地域の元気臨時交付金や普通交付税等が増加したことから、歳入総額366億4,517万円(対前年度比1.1%減)を確保することができました。

この結果、歳入歳出差引額は5億9,647万円で、この額から事業の繰越しに伴う「翌年度に繰り越すべき財源」3億159万円を差し引いた「実質収支額」は2億9,488万円となり、昭和50年度から続く黒字決算を継続する結果となりました。

特別会計は、国民健康保険事業会計をはじめとする全8会計で黒字決算となりました。

基金残高は、特別会計で1億1,914万円の減少となりましたが、一般会計で8億6,479万円の増加となったことから、全会計では7億4,566万円の増加となりました。

市債残高は、一般会計で7億5,600万円、特別会計で1億7,725万円、企業会計で7億2,318万円とそれぞれ増加したことから、全会計では16億5,643万円の増加となりました。

### 【参考】 平成25年度各会計決算状況

(単位:千円)

会 計 名	歳 入 (A)	伸率	歳 出 (B)	伸率	歳入歳出差引 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実 質 収支額 (E)=(C)-(D)
一 般 会 計	36,645,163	-1.1%	36,048,697	-0.3%	596,466	301,586	294,880
特 別 会 計	23,282,364	1.4%	22,768,568	1.6%	513,796	10,538	503,258
国民健康保険 事業会計	9,355,241	1.6%	9,208,984	4.0%	146,257	-	146,257
簡易水道 事業会計	594,791	3.2%	580,114	2.7%	14,677	-	14,677
土地建物造成 事業会計	38,285	0.8%	4,078	2.2%	34,207	-	34,207
貯木事業会計	6,640	-45.1%	6,635	-45.1%	5	-	5
下水道 事業会計	4,524,631	-5.4%	4,514,093	-5.3%	10,538	10,538	0
駐車場 事業会計	81,571	57.0%	63,899	178.4%	17,672	-	17,672
介護保険 事業会計	7,569,437	5.5%	7,279,833	3.3%	289,604	-	289,604
〔保険事業勘定〕	7,562,475	5.5%	7,274,775	3.3%	287,700	-	287,700
〔介護サービス 事業勘定〕	6,962	51.7%	5,058	63.1%	1,904	-	1,904
後期高齢者 医療事業会計	1,111,769	-0.6%	1,110,934	-0.1%	835	-	835
総 計	59,927,528	-0.1%	58,817,266	0.4%	1,110,262	312,124	798,138

一般会計 昭和50年度以降連続黒字決算

特別会計 全ての会計(8会計)で黒字決算

※特別会計の計及び総計については、会計毎の端数処理により合致しない場合があります。

## 2 一般会計の決算状況

### ① 決算規模

#### (1) 決算収支

##### 【前年度比較】

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	36,645,163	37,051,518	△ 406,355	△ 1.1	36,461,631
歳出総額 b	36,048,697	36,167,978	△ 119,281	△ 0.3	34,870,210
歳入歳出差引 c = a - b	596,466	883,540	△ 287,074	△ 32.5	1,591,421
翌年度に繰り越すべき財源 d	301,586	346,864	△ 45,278	△ 13.1	190,855
実質収支 e = c - d	294,880	536,676	△ 241,796	△ 45.1	1,400,566

※昭和50年度以降連続黒字

24年度決算と比べると、歳出面において、地域の元気臨時交付金基金積立金や病院事業会計への出資金、台風18号災害による災害復旧事業費などが増加しましたが、財政調整積立金や退職手当の減などによる総務費や土木費などの減少により、1億1,928万円の減少となりました。一方、歳入面では、国庫支出金が11億7,351万円、地方交付税で2億9,877万円の増加となりましたが、市税で6億4,528万円、前年度からの繰越金で7億788万円、地域開発用地等先行取得資金貸付金収入などの減により諸収入で5億9,895万円の減少となったことなどにより、総額で4億636万円の減少となりました。

また、翌年度に繰り越すべき財源は、24年度に比べ減少し、併せて、実質収支についても、24年度に比べ2億4,180万円の減少となりました。

##### 【予算・決算比較】

	平成25年度 決算額 A	平成25年度 予算額 D	差 引 E = D - A	比率 A/D
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	36,645,163	39,319,563	2,674,400	93.2
歳出総額 b	36,048,697	39,319,563	3,270,866	91.7
歳入歳出差引 c = a - b	596,466			

	平成24年度 決算額 B	平成24年度 予算額 D'	差 引 E' = D' - B	比率 B/D'
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	37,051,518	39,622,610	2,571,092	93.5
歳出総額 b	36,167,978	39,622,610	3,454,632	91.3
歳入歳出差引 c = a - b	883,540			

25年度では、舞鶴発電所に係る固定資産税等の市税収入が減少したことなどにより、歳入総額が減少し、歳入予算に対する執行率は93.2%と前年度に比べて0.3%減少しました。

その一方で、歳出予算に対する執行率は91.7%（対前年度比0.4%増）となり、歳入歳出間の比率の差が縮小したことから、歳入歳出差引が減額となりました。

## (2) 歳入の決算状況

科目	平成25年度 決算額 A 千円	平成24年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C / B %	※歳入 構成比 %
<b>歳入総額</b>	36,645,163	37,051,518	△ 406,355	△ 1.1	

平成25年度では、舞鶴発電所に係る固定資産税等の減少により市税が前年度比 6億4,528万円の減。このほか、地方交付税と臨時財政対策債は増となったものの、一般財源である第1款 市税から第12款 交通安全対策特別交付金及び臨時財政対策債の合計額は、222億7,484万円となり、前年度比 5,118万円の減となりました。

また、繰越金が7億788万円、土地開発公社からの地域開発用地等先行取得資金貸付金収入等の減により諸収入が5億9,895万円、それぞれ減少しました。

一方、地域の元気臨時交付金等の増により国庫支出金が11億7,351万円、土地売却収入等の増により財産収入が2億2,566万円、それぞれ増加しました。

<b>1 市 税</b>	13,398,164	14,043,439	△ 645,275	△ 4.6	36.6
--------------	------------	------------	-----------	-------	------

### 【主な増減事由】

市民税（個人）			△ 97,339	△ 2.4	10.6
市民税（法人）			△ 181,783	△ 23.5	1.6
固定資産税（土地・家屋・償却資産）			△ 442,009	△ 5.3	21.6
市たばこ税			70,670	10.9	2.0

<b>2 地方譲与税</b>	300,817	319,564	△ 18,747	△ 5.9	0.8
----------------	---------	---------	----------	-------	-----

<b>3 利子割交付金</b>	34,421	37,062	△ 2,641	△ 7.1	0.1
-----------------	--------	--------	---------	-------	-----

<b>4 配当割交付金</b>	54,262	28,899	25,363	87.8	0.2
-----------------	--------	--------	--------	------	-----

<b>5 株式等譲渡所得割交付金</b>	85,728	7,118	78,610	1,104.4	0.2
----------------------	--------	-------	--------	---------	-----

<b>6 地方消費税交付金</b>	865,792	873,235	△ 7,443	△ 0.9	2.4
-------------------	---------	---------	---------	-------	-----

<b>7 ゴルフ場利用税交付金</b>	8,301	8,020	281	3.5	0.0
---------------------	-------	-------	-----	-----	-----

<b>8 自動車取得税交付金</b>	101,528	119,935	△ 18,407	△ 15.3	0.3
--------------------	---------	---------	----------	--------	-----

9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	163,237	162,697	540	0.3	0.5
---------------------	---------	---------	-----	-----	-----

10 地方特例交付金	50,419	48,526	1,893	3.9	0.1
------------	--------	--------	-------	-----	-----

11 地方交付税	5,258,092	4,959,321	298,771	6.0	14.4
----------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

普通交付税	205,486	5.3
特別交付税	93,285	8.6
※ 臨時財政対策債	339,500	21.2
※ 実質的な交付税額	638,271	9.7

12 交通安全対策特別交付金	12,583	13,846	△ 1,263	△ 9.1	0.0
----------------	--------	--------	---------	-------	-----

13 分担金及び負担金	448,179	436,915	11,264	2.6	1.2
-------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

保育所保育料	13,438	3.4
被災市町村負担金	7,931	543.6
(農業) 基盤整備促進事業費分担金	△ 7,042	△ 48.1

14 使用料及び手数料	569,038	515,317	53,721	10.4	1.6
-------------	---------	---------	--------	------	-----

【主な増減事由】

東地区中心市街地複合施設使用料	22,719	皆増
体育施設使用料	8,169	皆増
体育館使用料	18,418	皆増
可燃ごみ処分手数料	7,991	4.7
住宅使用料 (現年度・滞納繰越分)	△ 4,238	△ 3.4

15 国庫支出金	5,870,078	4,696,572	1,173,506	25.0	16.0
----------	-----------	-----------	-----------	------	------

【主な増減事由】

生活保護費負担金	151,207	11.3
地域の元気臨時交付金	778,431	皆増
防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金	52,453	443.1
社会資本整備総合交付金 (道路橋りょう費)	44,139	21.6
社会資本整備総合交付金 (住宅費)	44,010	19.0
緊急消防援助隊設備整備費補助金	47,277	皆増
子育て支援交付金	△ 28,488	皆減
消防防災通信基盤整備費補助金	△ 29,200	皆減

<b>16 府支出金</b>	2,712,478	2,688,153	24,325	0.9	7.4
----------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

障害者介護給付・訓練等給付費負担金	24,020	6.3		
老人医療助成事業費補助金	12,826	13.3		
子育て支援特別対策事業費補助金	39,954	500.7		
子育て支援医療助成事業費補助金	10,283	16.1		
地域再建被災者住宅等支援事業補助金	26,191	皆増		
選挙費委託金	15,252	39.6		
災害廃棄物処理委託金	15,832	皆増		
子宮頸がん予防ワクチン等接種促進助成事業費補助金	△ 39,444	皆減		
基盤整備促進事業費補助金	△ 54,990	△ 69.2		
地域水産物供給基盤整備事業費補助金	△ 32,516	△ 96.5		

<b>17 財産収入</b>	380,513	154,856	225,657	145.7	1.0
----------------	---------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

土地売却収入	218,288	436.4		
--------	---------	-------	--	--

<b>18 寄附金</b>	31,321	14,496	16,825	116.1	0.1
---------------	--------	--------	--------	-------	-----

【主な増減事由】

一般寄付金	23,412	皆増		
社会福祉費寄附金	△ 3,617	△ 63.5		

<b>19 繰入金</b>	163,109	466,572	△ 303,463	△ 65.0	0.4
---------------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

長寿社会基金繰入金	△ 419,540	皆減		
地域福祉推進基金繰入金	△ 19,929	皆減		
障害者福祉基金繰入金	△ 8,126	皆減		
※平成24年度に、上記3基金を統合し、市民福祉ささえあい基金を設置				
市民福祉ささえあい基金	48,296	皆増		
公設地方卸売市場事業会計繰入金	83,529	皆増		

<b>20 繰越金</b>	883,540	1,591,421	△ 707,881	△ 44.5	2.4
---------------	---------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

現年度	△ 863,890	△ 61.7		
繰越明許費	156,009	81.7		

<b>21 諸収入</b>	1,366,570	1,965,522	△ 598,952	△ 30.5	3.7
---------------	-----------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

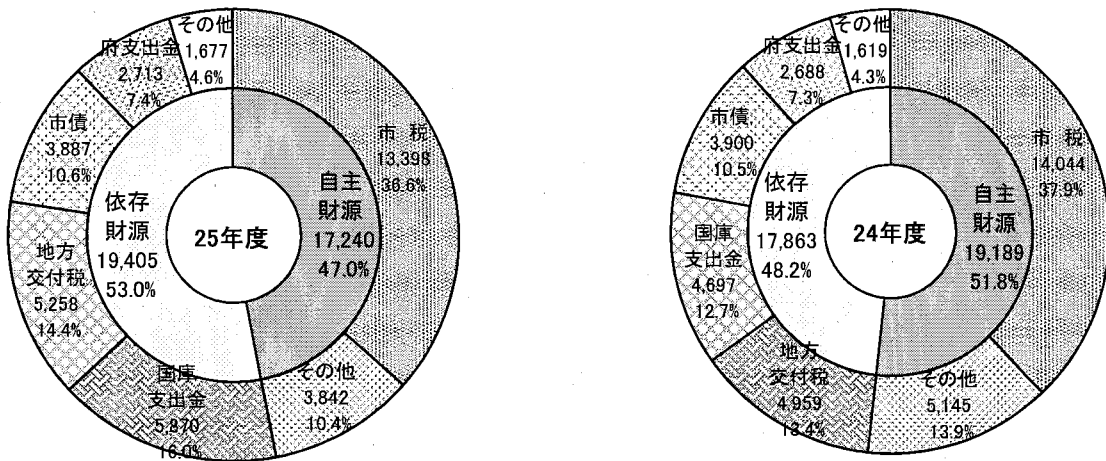
中小企業災害特別融資制度貸付金収入	20,000	皆増
後期高齢者医療医療給付費負担金返還金	51,451	379.1
地域開発用地等先行取得資金貸付金収入	△ 646,229	△ 93.4
地域総合整備資金貸付金収入	△ 19,557	皆減
水洗便所等改造資金貸付金元利収入	△ 19,047	△ 18.6

<b>22 市債</b>	3,886,993	3,900,032	△ 13,039	△ 0.3	10.6
--------------	-----------	-----------	----------	-------	------

【主な増減事由】

建設地方債	△ 352,539	△ 15.3
臨時財政対策債	339,500	21.2

歳入構成(自主財源・依存財源別)(単位:百万円)





### (3) 歳出(目的別)の決算状況

科目	平成25年度 決算額 A 千円	平成24年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C / B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------	-----------------

<b>歳出総額</b>	36,048,697	36,167,978	△ 119,281	△ 0.3	
-------------	------------	------------	-----------	-------	--

歳出(目的別)においては、衛生費で病院事業会計への補助金および出資金などによる増、農林水産業費では台風18号による被害対策などにより、また、災害復旧費でも台風災害からの復旧事業費が、それぞれ増加となりました。

一方、土木費では、都市開発推進基金の積立や交通安全推進事業費などが減少、総務費は退職手当等の減による職員給与費の減などにより、また、教育費では、青葉中学校の大規模改造が24年度に終了したことによる校舎等改修事業費(中学校費)の減などによりそれぞれ減少となりました。

この結果、歳出総額では、前年度比で1億1,928万円の減少となりました。

<b>議会費</b>	349,297	364,171	△ 14,874	△ 4.1	1.0
------------	---------	---------	----------	-------	-----

#### 【主な増減事由】

議会活動経費	△ 4,733	△ 27.9
地方議会議員共済会給付等負担金	△ 8,427	△ 9.9

<b>総務費</b>	4,981,517	5,340,322	△ 358,805	△ 6.7	13.8
------------	-----------	-----------	-----------	-------	------

#### 【主な増減事由】

グループウェアシステム等管理経費	26,022	238.6
情報システム管理経費	268,418	281.1
財政調整積立金(市場施設改良基金分)	83,529	皆増
地域の元気臨時交付金基金積立金	517,731	皆増
赤れんが博物館管理運営経費(25年度から教育費より)	24,667	皆増
固定資産税評価替経費	26,287	1,239.4
参議院議員通常選挙経費	38,332	皆増
職員給与費(総務管理費)	△ 419,917	△ 20.2
財政調整積立金	△ 470,000	△ 60.5
財産管理経費	△ 124,730	△ 55.3
舞鶴市文化事業団支援事業費補助金	△ 72,744	△ 81.1
赤れんがパーク整備事業費	△ 242,736	△ 98.3
過年度税外収入還付金	△ 81,551	△ 66.3
過年度税収入還付金	△ 53,744	△ 55.0
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	△ 38,257	皆減

<b>民生費</b>	12,137,332	12,094,479	42,853	0.4	33.7
------------	------------	------------	--------	-----	------

【主な増減事由】

国民健康保険事業会計繰出金	38,638	7.3		
介護人材確保支援事業費	23,759	146.6		
障害者施設支援給付費	72,506	6.0		
後期高齢者医療療養給付費負担金	22,032	2.7		
老人医療助成費	28,770	14.4		
介護保険事業会計繰出金	34,859	3.3		
保育委託事業費	20,693	2.0		
私立保育園運営費等補助金	22,512	179.3		
子育て交流施設整備事業費	72,382	1,132.0		
放課後児童クラブ整備事業費	21,965	皆増		
災害廃棄物処理経費	121,156	皆増		
地域再建被災者住宅等支援事業補助金	41,530	皆増		
市民福祉ささえあい基金積立金	△ 415,132	△ 99.3		
地域密着型サービス拠点施設整備費補助金	△ 17,906	△ 34.8		
児童手当給付費	△ 39,396	△ 2.9		
生活保護費(扶助費)	△ 38,585	△ 2.2		

<b>衛生費</b>	3,509,711	3,178,667	331,044	10.4	9.7
------------	-----------	-----------	---------	------	-----

【主な増減事由】

予防接種事業費	40,383	24.2		
舞鶴地域医療連携機構設立事業費	20,435	皆増		
舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金	35,921	皆増		
病院事業会計経営支援補助金	56,739	8.7		
病院事業会計出資金	269,900	273.2		
子宮頸がん予防ワクチン等接種促進事業費	△ 79,445	皆減		
リサイクル事務所改修事業費	△ 46,371	△ 67.8		

<b>労働費</b>	98,927	108,502	△ 9,575	△ 8.8	0.3
------------	--------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

シルバー人材センター事業費補助金	8,793	129.3		
勤労者福祉施設管理運営経費	4,794	16.9		
緊急雇用創出事業費	△ 21,436	△ 39.0		

<b>農林水産業費</b>	820,590	663,255	157,335	23.7	2.3
---------------	---------	---------	---------	------	-----

【主な増減事由】

万願寺甘とう振興事業費	34,476	皆増
農機具等農業設備復旧支援事業費補助金	10,035	皆増
被災担い手農家等経営再建支援事業費補助金	15,365	皆増
土地改良事業費補助金	30,228	302.7
有害鳥獣被害防止対策事業費	19,732	102.4
舞鶴湾漁場造成事業費	28,029	254.1
共同利用施設整備事業費補助金	11,530	皆増
漁港施設長寿命化事業費	10,546	155.1
漁港海岸保全対策事業費	39,971	926.1
地域農業特産振興事業費	△ 10,127	△ 92.1
基盤整備促進事業費	△ 74,284	△ 63.5
地域水産物供給基盤整備事業費	△ 50,910	△ 96.4

<b>商工費</b>	1,411,388	1,359,917	51,471	3.8	3.9
------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業費	41,302	784.0
舞鶴赤れんがパークブランディング事業費	36,629	皆増
着地型観光推進事業費	11,488	93.6
京都舞鶴港クルーズ推進事業費	9,568	259.4
企業誘致実現プロジェクト事業費	41,330	2,800.1
中小企業災害特別融資制度貸付金	20,000	皆増
東地区中心市街地複合施設管理運営経費	22,349	皆増
まいづる元気産業創出事業費	△ 68,397	△ 76.0
東地区中心市街地立体駐車場及びコミュニティ施設取得事業費	△ 64,346	皆減
京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費	△ 8,300	△ 40.5

<b>土木費</b>	4,385,424	4,757,242	△ 371,818	△ 7.8	12.2
------------	-----------	-----------	-----------	-------	------

【主な増減事由】

道路舗装修繕事業費	45,442	107.4
通学路等安全道路整備事業費（道路新設改良費）	50,224	皆増
（仮称）前島歩道橋周辺整備事業費	37,714	127.5
下水道事業会計繰出金	48,457	3.7
公営住宅建替事業費	67,790	13.2
公営住宅改善事業費	34,085	89.2
交通安全推進事業費	△ 100,483	△ 34.1
みんなにやさしい安全道路整備事業費（道路新設改良費）	△ 35,977	△ 83.8
地域間連絡道路整備事業費	△ 74,200	△ 41.2
まちづくり道路整備事業費（道路新設改良費）	△ 55,000	皆減
都市開発推進基金積立金	△ 269,843	△ 97.1
水洗便所等改造資金貸付金	△ 31,110	△ 38.0
住宅市街地総合整備事業費	△ 45,700	皆減

<b>消 防 費</b>	1,456,211	1,497,464	△ 41,253	△ 2.8	4.0
--------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

消防団員退職報償金	17,598	86.3
消防救急無線デジタル化事業費	154,386	2,987.3
消防施設整備事業費	△ 10,610	△ 11.3
防災行政無線（同報系）整備事業費	△ 214,832	皆減

<b>教 育 費</b>	2,998,613	3,091,225	△ 92,612	△ 3.0	8.3
--------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

特色ある教育環境づくり支援事業費	15,640	皆増
校舎等改修事業費（小学校費）	236,877	53.6
学校給食運営経費（中学校費）	51,782	123.6
体育施設整備事業費	37,185	530.3
赤れんがハーフマラソン開催経費	12,280	皆増
職員給与費（事務局費）	△ 47,749	△ 15.9
私立学校施設整備費補助金	△ 43,786	皆減
校舎等改修事業費（中学校費）	△ 329,084	△ 87.0
赤れんが博物館管理運営経費（25年度から総務費へ）	△ 22,207	皆減

<b>公 債 費</b>	3,551,416	3,594,352	△ 42,936	△ 1.2	9.8
--------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

建設地方債	△ 129,584	△ 4.8
その他	86,648	9.7

<b>災害復旧費</b>	348,271	118,382	229,889	194.2	1.0
--------------	---------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

農林水産施設災害復旧費	21,472	35.6
公共土木施設災害復旧費	181,372	312.5
その他公共施設災害復旧費	27,045	皆増

(4) 歳出(性質別)の状況

科目	平成25年度 決算額 A 千円	平成24年度 決算額 B 千円	差引 C=A-B 千円	増減率 C/B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-------------------	-----------------	-----------------

歳出(性質別)で最も増加額が大きい物件費では、新基幹業務システムへの移行・導入等による情報システム管理経費の増額等により、前年度比で6億9,816万円増加しています。このほか、出資金・貸付金では病院事業会計出資金の増等により、繰出金では下水道事業会計等への繰出金の増により、補助費等では病院事業会計経営支援補助金、また、災害復旧費では、台風18号災害に係る復旧事業費などがそれぞれ増加しました。

一方、人件費では退職手当等の減により、また、普通建設事業費では赤れんがパーク整備事業費等の減により、積立金では市民福祉ささえあい基金や財政調整積立金等の減によりそれぞれ減少しました。

<b>義務的経費</b>	17,116,397	17,576,096	△ 459,699	△ 2.6	47.5
--------------	------------	------------	-----------	-------	------

<b>人件費</b>	5,861,691	6,328,832	△ 467,141	△ 7.4	16.3
------------	-----------	-----------	-----------	-------	------

【主な増減事由】

退職手当	△ 382,794	△ 45.0
職員給(一般)	△ 56,829	△ 1.4

<b>扶助費</b>	7,703,290	7,652,912	50,378	0.7	21.4
------------	-----------	-----------	--------	-----	------

【主な増減事由】

障害者施設支援給付費	72,505	6.0
老人医療助成費	26,352	13.6
保育委託事業費(私立)	20,693	2.0
児童手当給付費	△ 39,810	△ 3.0
生活保護扶助費	△ 38,585	△ 2.2

<b>公債費</b>	3,551,416	3,594,352	△ 42,936	△ 1.2	9.8
------------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

元金	△ 10,007	△ 0.3
利子	△ 32,929	△ 7.3

その他	13,962,004	13,290,376	671,628	5.1	38.7
<b>物件費</b>	<b>4,726,474</b>	<b>4,028,319</b>	<b>698,155</b>	<b>17.3</b>	<b>13.1</b>

【主な増減事由】

情報システム管理経費	268,209	282.6
災害廃棄物処理経費	104,442	皆増
予防接種事業費	40,188	24.3
舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業費	40,653	皆増
舞鶴赤れんがパークブランディング事業費	36,629	皆増
(中学校費) 学校給食運営経費	46,239	247.1
子宮頸がん予防ワクチン等接種促進事業費	△ 78,640	皆減

<b>維持補修費</b>	<b>235,220</b>	<b>230,146</b>	<b>5,074</b>	<b>2.2</b>	<b>0.7</b>
--------------	----------------	----------------	--------------	------------	------------

<b>補助費等</b>	<b>2,674,960</b>	<b>2,617,450</b>	<b>57,510</b>	<b>2.2</b>	<b>7.4</b>
-------------	------------------	------------------	---------------	------------	------------

【主な増減事由】

私立保育園運営費等補助金	22,512	179.3
地域再建被災者住宅等支援事業補助金	39,287	皆増
舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金	35,921	皆増
病院事業会計経営支援補助金	56,738	8.7
被災担い手農家等経営再建支援事業費補助金	15,365	皆増
消防団員退職報償金	17,598	86.3
過年度税外収入還付金	△ 81,551	△ 66.3
過年度税収入還付金	△ 53,744	△ 55.0

<b>積立金</b>	<b>944,373</b>	<b>1,489,315</b>	<b>△ 544,942</b>	<b>△ 36.6</b>	<b>2.6</b>
------------	----------------	------------------	------------------	---------------	------------

【主な増減事由】

財政調整積立金（市場施設改良基金分）	83,529	皆増
地域の元気臨時交付金基金積立金	517,731	皆増
財政調整積立金	△ 470,000	△ 60.5
市民福祉ささえあい基金積立金	△ 415,132	△ 99.3
都市開発推進基金積立金	△ 269,843	△ 97.1

<b>出資金・貸付金</b>	1,181,736	880,115	301,621	34.3	3.3
----------------	-----------	---------	---------	------	-----

【主な増減事由】

介護人材確保支援事業費	19,551	187.2
舞鶴地域医療連携機構設立事業費	20,000	皆増
病院事業会計出資金	269,900	273.2
中小企業災害特別融資制度貸付金	20,000	皆増
水洗便所等改造資金貸付金	△ 31,110	△ 38.0

<b>繰出金</b>	4,199,241	4,045,031	154,210	3.8	11.6
------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

国民健康保険事業会計繰出金	38,638	7.3
後期高齢者医療療養給付費負担金	22,032	2.7
介護保険事業会計繰出金	34,860	3.3
下水道事業会計繰出金	48,457	3.7

<b>投資的経費</b>	4,970,296	5,301,506	△ 331,210	△ 6.2	13.8
--------------	-----------	-----------	-----------	-------	------

<b>普通建設事業費</b>	4,622,025	5,183,124	△ 561,099	△ 10.8	12.8
----------------	-----------	-----------	-----------	--------	------

【主な増減事由】

消防救急無線デジタル化事業費	154,386	2,987.3
(小学校費) 校舎等改修事業費	236,877	53.6
財産管理経費	△ 128,192	△ 60.7
赤れんがパーク整備事業費	△ 242,453	△ 98.3
防災行政無線(同報系)整備事業費	△ 214,832	皆減
(中学校費) 校舎等改修事業費	△ 329,084	△ 87.0

<b>災害復旧事業費</b>	348,271	118,382	229,889	194.2	1.0
----------------	---------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

道路橋りょう災害復旧事業費	126,412	286.4
河川災害復旧事業費	61,302	1,329.2

## ② 基金残高の状況

一般会計では、財政調整積立金が3億9,012万円の増、地域の元気臨時交付金基金が5億1,773万円の増などにより、8億6,479万円の増となり、特別会計では、会計閉鎖に伴う公設市場施設改良基金8,350万円の減などにより、1億1,913万円の減となり、全会計では、7億4,565万円の増となりました。

	平成24年度末	積立	取崩	平成25年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	10,749,201	944,374	79,580	11,613,995
財政調整積立金	3,812,669	390,529	400	4,202,798
減債基金	1,067,242	6,000	676	1,072,566
職員退職手当基金	1,021,000	3,000	-	1,024,000
その他	4,848,290	544,845	78,504	5,314,631
特別会計	4,060,307	23,725	142,860	3,941,172
計	14,809,508	968,099	222,440	15,555,167

## ③ 市債残高の状況

一般会計では、建設地方債が3億4,468万円の減となったものの、臨時財政対策債など交付税振替分の市債が11億68万円の増となったため、7億5,600万円の増となりました。また、特別会計では、簡易水道事業債が1億8,231万円、駐車場事業債が830万円の減等により、1億7,725万円の増に、企業会計では、水道事業債が2億2,216万円の減、病院事業債が9億4,534万円の増になったため、7億2,318万円の増となりましたことから、全会計で16億5,643万円の増となりました。

	平成24年度末	償還	借入	平成25年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	33,227,347	3,130,991	3,886,993	33,983,349
建設地方債	20,363,908	2,290,169	1,945,493	20,019,232
臨時財政対策債等	12,863,439	840,822	1,941,500	13,964,117
特別会計	30,331,837	1,567,955	1,745,200	30,509,082
企業会計	6,044,956	377,516	1,100,700	6,768,140
計	69,604,140	5,076,462	6,732,893	71,260,571



### 3 特別会計の決算状況

#### ① 国民健康保険事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	9,355,241	9,203,972	151,269	1.6	9,019,424
歳出総額 b	9,208,984	8,858,811	350,173	4.0	8,923,280
歳入歳出差引 c = a - b	146,257	345,161	△ 198,904	△ 57.6	96,144
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	146,257	345,161	△ 198,904	△ 57.6	96,144

国民健康保険事業におきましては、高齢化の進展や医療技術の高度化に伴い、高齢者を中心に医療費は年々増加を続けている状況の中、平成25年度の歳入は、保険給付費の増加に伴う国庫支出金が増加する一方、2年後精算の影響に伴う前期高齢者交付金の減少などにより総額は9,355,241千円、歳出は、医療費の増加に伴う保険給付費や後期高齢者支援金の増加などにより総額は9,208,984千円で、歳入歳出差引は146,257千円の黒字となりますが、前年度からの繰越金345,161千円を除いた単年度収支では198,904千円の赤字となり、厳しい財政状況となっております。

#### ② 簡易水道事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	594,791	576,252	18,539	3.2	651,205
歳出総額 b	580,114	564,674	15,440	2.7	637,507
歳入歳出差引 c = a - b	14,677	11,578	3,099	26.8	13,698
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	14,677	11,578	3,099	26.8	13,698

本市では、国の「簡易水道と上水道との統合を促進する方針」を受け、平成29年4月1日から全ての簡易水道を上水道に統合するため、「舞鶴市簡易水道統合計画」に基づき、配水池や配水管等の施設整備を進めています。平成25年度は、岡田中・東大浦・西地区の簡易水道統合整備事業と小原地区の水道未普及地域解消事業を実施するとともに、新たに、瀬崎地区の水質を改善する事業に着手しました。

平成25年度決算における歳入歳出差引は、前年度に比べ3,099千円、26.8%増の14,677千円の黒字となりました。

### ③ 土地建物造成事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	38,285	37,996	289	0.8	37,820
歳出総額 b	4,078	3,989	89	2.2	4,095
歳入歳出差引 c = a - b	34,207	34,007	200	0.6	33,725
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	34,207	34,007	200	0.6	33,725

土地建物造成事業会計は、宅地造成や公共用地の先行取得を目的として設置したものであり、土地開発基金や土地貸付などの運用を行っています。  
25年度決算につきましては、歳入は、本会計で管理している土地の貸付料218千円、土地開発基金の利子4,060千円、前年度からの繰越金34,007千円であり、歳入総額は38,285千円となり、歳出は、土地開発基金利子分の基金への繰出金4,060千円等であり、歳出総額は4,078千円となり、この結果、歳入歳出差引は34,207千円の黒字となりました。

### ④ 貯木事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	6,640	12,093	△ 5,453	△ 45.1	976
歳出総額 b	6,635	12,092	△ 5,457	△ 45.1	975
歳入歳出差引 c = a - b	5	1	4	400.0	1
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	5	1	4	400.0	1

貯木事業会計は、平地区の海域で舞鶴市が管理・運営を行っております舞鶴市貯木場に係るものですが、当貯木場は、平成17年7月より使用を休止しており、今後の利用計画が決定するまでの間、必要最小限の施設の維持管理を行っています。

25年度決算につきましては、歳入は、貯木場の物揚場にかかる施設使用料、基金繰入金等であり、歳入合計は6,640千円、前年度に比べ5,453千円の減となりました。

また、歳出は、貯木場施設の維持管理に係る経費であり、25年度では施設跡地の利用調査や区域内の浚渫工事等を実施しており、歳出合計は6,635千円、前年度に比べ5,457千円の減となりました。

## ⑤ 下水道事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	4,524,631	4,781,738	△ 257,107	△ 5.4	4,778,713
歳出総額 b	4,514,093	4,768,119	△ 254,026	△ 5.3	4,743,469
歳入歳出差引 c = a - b	10,538	13,619	△ 3,081	△ 22.6	35,244
翌年度に繰り越すべき財源 d	10,538	4,051	6,487	160.1	11,536
実質収支 e = c - d	0	9,568	△ 9,568	△ 100.0	23,708

下水道事業においては、公共下水道の処理区域の拡大や、これに伴う浄化センターの整備を進めるとともに、下水道施設の改築更新・長寿命化に取り組んでまいりました。この結果、平成25年度末の全市水洗化普及率は、前年度より1ポイント増の94%となりました。

これらの施設の維持管理につきましては、施設の老朽化による事故の未然防止や安定した水処理を継続するため、下水道管の調査や対策を実施し、浄化センターでは良好な放流水質の維持や資源の再利用など、効率的で適正な運転管理に努めました。

平成25年度の決算においては、歳入歳出差引は10,538千円であり、同額を翌年度繰越事業の財源としているため、実質収支は均衡しています。

## ⑥ 駐車場事業会計

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	81,571	51,942	29,629	57.0	51,671
歳出総額 b	63,899	22,955	40,944	178.4	22,411
歳入歳出差引 c = a - b	17,672	28,987	△ 11,315	△ 39.0	29,260
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	17,672	28,987	△ 11,315	△ 39.0	29,260

駐車場事業においては、平成25年度から七条駐車場を除く駐車場の管理を市直営とし、三条駐車場を廃止としております。

25年度決算につきましては、歳入は使用料及び24年度からの繰越金等であり、歳入総額は81,571千円で、前年度に比べ29,629千円の増。歳出は、自動料金収受システム設置等施設整備事業費、駐車場用地の賃借料及び駐車場整備の際に借りました駐車場事業債の償還金等であり、歳出総額は63,899千円で、前年度に比べ40,944千円の増となりました。

この結果、歳入歳出差引は17,672千円の黒字となりましたが、前年度からの繰越金を除く単年度収支は11,315千円の赤字となっています。

また、駐車場の利用状況は、25年度は前年度に比べて、駐車台数は1.6%の減となりましたが、駐車場使用料は3.5%の増となっています。

## ⑦ 介護保険事業会計

### (保険事業勘定)

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	7,562,475	7,167,079	395,396	5.5	6,792,285
歳出総額 b	7,274,775	7,044,054	230,721	3.3	6,726,433
歳入歳出差引 c = a - b	287,700	123,025	164,675	133.9	65,852
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	287,700	123,025	164,675	133.9	65,852

平成25年度の介護保険事業・保険事業勘定におきましては、第5期介護保険事業計画（平成24～26年度の3ヶ年）に基づき、保険給付や地域支援事業等を実施しました。

要介護・要支援者の認定者数は、25年度末で4,736人となり、前年度末と比較して51人増加。また、サービス利用者数は、26年2月時点で3,985人となり、前年同期と比較して23人の増加となっています。こうした介護サービス利用者の増加等により、歳出の保険給付費が増加し、これに伴い歳入の国支出金なども増加したことから、25年度決算では、歳入総額は7,562,475千円で、前年度に比べ395,396千円、5.5%の増、歳出総額では、7,274,775千円で、前年度に比べ230,721千円、3.3%の増となり、歳入歳出差引は287,700千円の黒字となりました。

### (介護サービス事業勘定)

	平成25年度 決算額 A	平成24年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	6,962	4,588	2,374	51.7	-
歳出総額 b	5,058	3,101	1,957	63.1	-
歳入歳出差引 c = a - b	1,904	1,487	417	28.0	-
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	1,904	1,487	417	28.0	-

介護サービス事業勘定におきましては、城南地域包括支援センターにおいて実施しております介護サービス事業に関するもので、歳入総額では、介護予防支費収入として6,962千円、歳出総額はケアプランの作成業務などで5,058千円となっており、歳入歳出差引では1,904千円の黒字となっております。

## ⑧ 後期高齢者医療事業会計

	平成25年度	平成24年度	差 引	増減率	(参考)
	決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成23年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	1,111,769	1,118,340	△ 6,571	△ 0.6	1,065,770
歳出総額 b	1,110,934	1,111,777	△ 843	△ 0.1	1,059,862
歳入歳出差引 c = a - b	835	6,563	△ 5,728	△ 87.3	5,908
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	835	6,563	△ 5,728	△ 87.3	5,908

後期高齢者医療事業につきましては、後期高齢者医療制度によって、市が徴収した保険料、一般会計からの繰入金などを受入れ、府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が主体となり市町村と役割分担をして運営しています。

具体的には、広域連合が、被保険者の認定や保険料の決定、保険給付の審査・支払等を行い、市では、保険料の徴収のほか、保険証の引き渡しや各種届出の受付などの窓口業務を行っています。

これに伴い、会計経理についても、歳入で保険料、一般会計からの繰入金等を受け入れ、歳出で職員給与費の事業運営費等を除いて、全て広域連合へ納付しております。

25年度決算における歳入歳出差引は835千円ですが、これは、出納整理期間中に納付された25年度の保険料であり、26年度に繰り越して広域連合へ納付します。

#### 4 主要財政指標等の推移（平成21年度～25年度）

項 目	年 度				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
財政力指数	0.747	0.721	0.715	0.729	0.739

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額／基準財政需要額で得た数値を過去3ヶ年平均したものです。  
この数値が1に近いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率 (%)					
一般会計	86.9	84.0	84.3	90.3	88.1
普通会計	86.9	84.0	84.4	90.7	88.5

経常的一般財源（歳入：市税、譲与税、普通交付税等）に対する経常的経費（歳出：人件費、扶助費、公債費など容易に縮減が困難な経費）充当一般財源の割合です。その大きさによって財政の健全性、弾力性をみることができる総合的な指数です。

25年度一般会計の経常収支比率につきましては、24年度に比べ、歳入で固定資産税等市税収入が約6.5億円の減となったものの、普通交付税で約2.1億円、臨時財政対策債が約3.4億円の増となったことなどにより、経常的一般財源の額（分母）は、約0.3億円の減で、ほぼ前年並みを確保することとなりました。

一方、歳出では、経常経費充当一般財源の額（分子）が、物件費で約2.3億円の増となったものの、人件費で退職手当の減や給与削減等の影響により約5.0億円の減、扶助費で約2.2億円の減などにより、約4.8億円の減となり、この結果、経常収支比率は2.2ポイントの減となりました。

公債費負担比率 (%)	15.0	14.4	14.7	14.2	14.1
-------------	------	------	------	------	------

一般財源総額に対する公債費に充当された一般財源の割合で、この率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示します。

公債費比率 (%)	12.1	11.3	11.2	10.8	10.1
-----------	------	------	------	------	------

経常的一般財源に対する地方債にかかる元利償還に要する経費の割合です。

5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況

(単位：%)

健全化判断比率	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—

一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、(一般会計等の赤字額) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど財政運営状況が深刻であると判断されます。

連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
----------	---	---	---	---	---

市の全ての会計の赤字・黒字を合計した場合の赤字の程度を指標化したもので、(全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど市全体の財政運営状況が深刻であると判断されます。

実質公債費比率	11.1	10.6	10.4	10.4	10.5
---------	------	------	------	------	------

標準財政規模に占める実質的な公債費(他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む)に費やした一般財源の割合を表す数値の過去3ヶ年平均値です。18%以上の団体は、地方債の発行に際し、都道府県知事の許可が必要となります。

将来負担比率	80.5	71.2	75.3	75.3	80.9
--------	------	------	------	------	------

地方債や、今後他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など、将来支払っていく可能性のある負担等の年度末時点における残高(充当可能財源等を除く)の、標準財政規模に占める割合を指標化した数値です。この数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いと判断されます。

公営企業の資金不足比率

水道事業会計	—	—	—	—	—
病院事業会計	—	—	—	—	—
簡易水道事業会計	—	—	—	—	—
貯木事業会計	—	—	—	—	—
公設地方卸売市場事業会計	—	—	—	158.7	—
下水道事業会計	—	—	—	—	—

企業会計の資金不足(赤字)の程度を指標化したもので、(それぞれの企業会計の資金不足額) / (それぞれの企業会計の事業の規模) で求められる数値です。この数値が高いほど企業会計の財政運営状況が深刻であると判断されます。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字又は資金不足が発生した場合のみ算出されるもので、比率が算出されない場合は「—」と表示しています。